太マラ爺が
彼女をキモ寝取りする
話
デカチンポしか勝たん！
カークン
@kakunr18

太マラ爺が
彼女をキモ寝取りする
話
デカチンポしか勝たん！
カークン
@kakunr18

太マラ爺が
彼女をキモ寝取りする
話
デカチンポしか勝たん！

花江かな(18)

セックス依存症の女子校生
内気で彼氏こうたには
言えない秘密を持つ

人知れず極太のちんぽを
欲している

こうた(18)

内気で、一途な男子学生
優しいがチンコは小さい

かなが寝取られてるとは
思いもよらない

サトシ(48)

無職、明るく外交的な中年男

どんな女性もイカせることが
できる特技を持つ

かなの純真な身体と心を
次第に自分のモノにする

真夏の8月
午後の太陽が
容赦なく地面を焼く
放課後から流れ出る
生徒たちの笑顔は夏休みを
目前に控えているからだ
これは一つだけ誰にも
言えない秘密を抱えている
とある女子校生の話
キーン
コーン
カーン
コーン…
キーン
コーン
カーン
コーン

私の名前は花江かな
学校で知り合った彼氏のこうたとラブラブの日々を送っている
かなはそろそろ進路選択どうする？
ち、ちんぽ選択…!?
そ、そんなのこうた以外となんてだめだよ！
でも正直に言うと私には隠してる秘密がある

それは…
こうた…
こうたの手って大きいよね…

私には人には理解できない性的な思考で常に激しい感情がこみ上げてくる

ん？
そうかなぁ普通の方だと思うけどな
グイ

なんだよぉ集中しろよ～
ドクン
ぐゅっ
ドク…
グッ！

もっと指で
かき混ぜて…
あッ
ぷるん…
むわぁ～♡
はぁ
はぁ
ハァ
ハァ
ハァ
グチョ
グチャ
グチョ
ビュチョ

はぁ
はっ
はぁ
はっ
頭がボォーとしてくる…
あっ…ーっ…
ハァ
ハァ
はぁー
スチュッ
グチュッ
気持ちいいところに当たってる
グチュ
ダメェ…イっちゃう…！
はぁ
ッ
ッ
グチュ
はぁ
ドクッ
ドクッ
グチュ
グチュ
グチャ
グチャ

ドキ
はぁ
はぁ
ムク
ジジ…
かな…僕もして欲しい
はぁ
はぁ
見して
はぁ
…

はっ！…
はっ
はっ
はっ
はっ
ちっさ…！
ドキ
はぁ！…
はっ！…
はっ！
はっ！
はぁー…
あっ
何度見ても可愛い
ぶるー——！…
ぷっ——…
くちゅ
くぷ…
ぷちゅ…
こうたのチンチンは
小さくて舐めやすい
はぁー…

はぁ…っ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
はぁ…っ
もう
イっちゃいそう
はぁ…
ふー…っ
かなちゃんの
お口きもちいい
はぁー…
はぁ…
はぁー…
まだ舐めた
ばっかでしょ
ちゅぽ
ちゅぷっ…
ちゅるる
はぁ…ー…っ
ふー…っ
イっちゃ
だめだよ
ふー…っ
だって舌遣いが
レベチなんだもん
はぁ!っ…

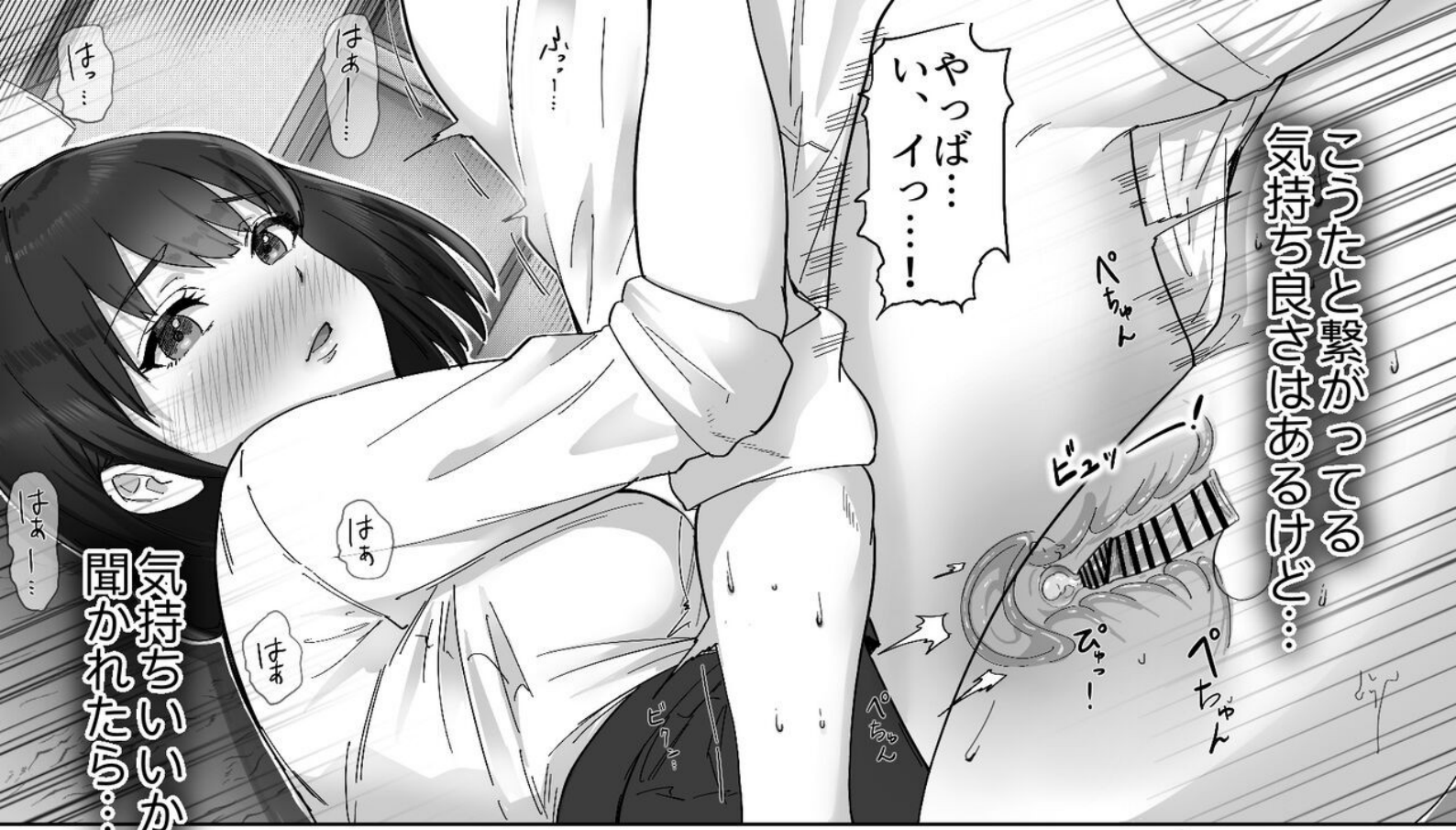
ぢゅうるるるるる
ほうかな…？
……
はぁー…
れえろ
はあ…
ぢゅるゅゅ
ぢゅぽぉー
ぢゅぽ
んぐ
ドクッ
おちゃ
はぁー
うぅ……っ
舌が巻き
付いてくる……っ
ぢゅぽぽ
ズズズ
はぁー
はあ
ドクッ
ン……
スチュー
ぢゅぽぉ
ドクッ
ぢゅぽぉー…
ぢゅっぽー
ぢゅぽー♡
はぁー
ぢゅぶー…
はぁー…
腰が抜けそうだよ…

かなちゃんのベロ
堪んない…！
ちゅ
ちゅ
ペロ
ペロ
ペロ
ペロ
ペロ
レロレロ
裏筋まで優しく
舐め包む…
ペロ
ペロ
ペロ
ふぅ——…
はぁ——…
レロォ——…
かなちゃんごめん！
僕先にイっちゃう…！
はぁ
はぁ——…
はぁ…
はぁ
はぁ
はぁ

んー…
びくん…
びくん
びくんッ
ビュルル……♡
ビュルル……♡
はぁー…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
くぱぁ
かなちゃんのお口の中に…
僕の精子が
はぁ…
はぁ…
テッシュ持ってるから…
はぁ…
はぁ…
ドキ…

飲んじゃったの!?
ゴクッ…
え…?
レロォー…
こうたのだったら飲めるよ
ドキッ
ドキッ
はぁー…
エッロッ…!!
かなちゃんはエッチでちんぽには目がない…
そんな最高な彼女がいて僕は幸せものだ…

挿れるね…
ガタンガッ
うん…
はぁー…
はぁー…
ちゅぷー…♡
かなちゃん…気持ちいい…
ちゅぷっ…♡
ちゅぷっー…
？
はぁー…
挿入(はい)ってる…？
はぁ
パチュッ
パチュッ
はぁ
ゆさ
ゆさ
ゆさ
はぁ
はぁ
かなちゃんも気持ちいい…？
はぁ
はぁー…
うん…
はぁ
おまんこ柔らかねね…
パチュッ
パチュン
パチュー…
パチュン
はぁー…
はぁー…


こうたと繋がってる気持ち良さはあるけど…
やっぱ…い、イっ…！
ペちゃん
ビュッ！
ぴゅっ！
ぺちゃん
ビクッ
はぁ
はっ…
はぁー…
ふっ…
気持ちいいかと聞かれたら…

えええ！早いよ！
はぁ
イっちゃった…
あっ…
ビュルルルル!!
ビクン
ビクン
ビクン
今さっき一緒になったばっかじゃん…
もっと感じたいよ…
ちゃぷん
スプンッ
はぁー…

悲しいことにこうたは
その事実を知らない

はぁ…
はぁ
はぁ…
はぁ
はぁ…
きもちかた…

こうたは粗チンの上に
エッチに対しての
向上心が
感じられないから…

すぐイク…

本音を言うと極太のちんぽを
味わってみたいと思っている

欲しい…
太くて硬い…
モワァ～
モワァ～
ちんぽ…
ドキ
ドキ
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
スチャ…

中に入れて欲しい…
極太の…
気持ち良くなりたい…
めちゃくちゃに犯してほしい…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
スチョ
スチュ…
スチョ
グチョ
スッチョ
グチョ

太マラ爺が
彼女をキモ寝取りする
話

8月

私って
他の男の人と
エッチしたことないな…

今日めちゃ暑くね？

こうた以外の男の人と
するイメージなんてないし…

この後どこ行こっか

室内がいいよね

そんなこと考えちゃ
いけないけど…

私ってこうた
以外の人とエッチ
できないのかな…

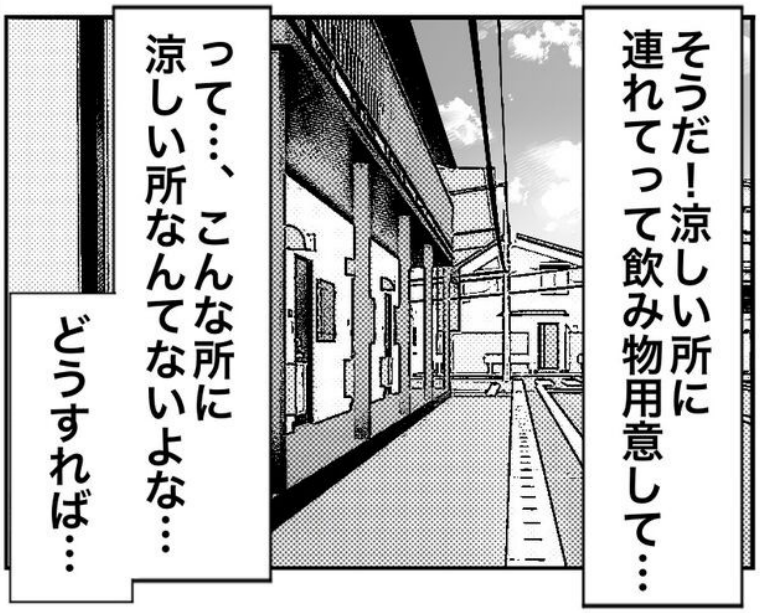
このまま
満足できない
状態が続くのは…
こうた…
はぁ
ん…？
はぁ
ゆっくり
歩こう…
はぁ
はぁ
あれ…
変なことばかり
考えてたら動機が…
ムラムラ
しすぎたのかな…
かなちゃん…？
ドキ
はぁ
はぁー…
はぁ
ごめん…
ちょっと具合悪いかも…
カラオケとか
マック行って
休憩する…？
大丈夫…
今金欠だし…
！
ツコ
ツコ
ツコ
私たちで行ける
場所なんで限られてるよ…

嘘…
なにこのちんぽ!?
デカすぎるでしょ…!
エロ漫画でしか見た事ない規格外の大きさじゃん…
あんなデカチンと…エッチできたら…
かなちゃん…!?
気持ちいいのかな…

かなちゃん…!?
しっかりして！

こういう時って
なにすればいいんだっけ…
やばい…
熱中症だよな…

!?


そうだ！涼しい所に
連れてって飲み物用意して…
って…、こんな所に
涼しい所なんてないよな…
どうすれば…

どしたんだね
君たち…
女の子具合悪いなら
うちで休んでくかい？

熱中症かい…？
かわいそうに…

あの…ここら辺で
休めそうな所ないですか…!?

ないなぁ

もう彼女さんが可哀想だ…
うちに来なさい…

そ、それは流石に
申し訳ないです…

なんだ
このおっさん…!!

こうして僕と
かなちゃんは

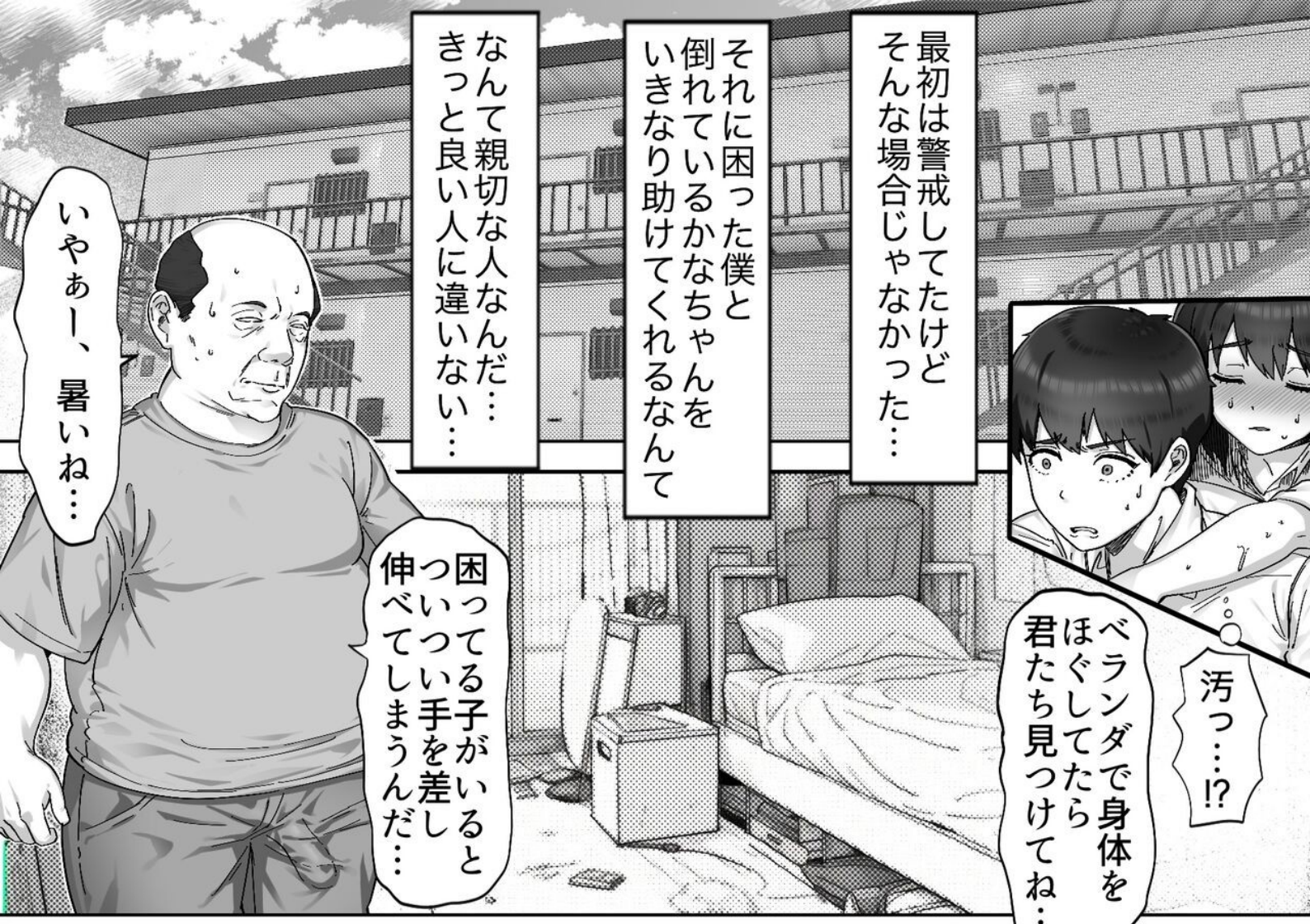
その日に出会った
おじさんに助けて
もらうことになった

うち2階だからね…
頑張って！

あの…
お家お邪魔します！

早くしないと
重症になるぞ…

かなちゃん…
モタモタしてる
場合じゃないか…


最初は警戒してたけど
そんな場合じゃなかった…
それに困った僕と
倒れているかなちゃんを
いきなり助けてくれるなんて
なんて親切な人なんだ…
きっと良い人に違いない…
いやぁー、暑いね…
困ってる子がいると
ついつい手を差し
伸べてしまうんだ…
汚っ…!?
ベランダで身体を
ほぐしてたら
君たち見つけてね…

あ…
すまない
少年…
どうか
しましたか？
水切れてるわ…
ええええ…
早くかなちゃんに
水飲ませないと…
スポドリとか
水僕買ってきますよ！
ああすみません！
もう行ってきます！
いってらっしゃいませ…

いやぁ…案外簡単に撤けるもんだな
ほれ飲むか？
起きないならしょうがないなぁ
さて…どうするか
ドクン…
ドクン…
ドクッ
ドクン
ドクッ
はぁ
はぁー
はぁーッ
はぁーッ
はぁッー
はぁー

ベロォー…
ジュッ
ジュー！
ぢゅるゃゃ
ジュ！
ジュルルー
うひょー！
JKの唇柔らかけぇ！
はぁッ…
熱中症だから
涼しくしないとね
はぁーミ
ハァーミ
んふっ♡
んはぁ♡
私は見抜いていた…
彼女は持っている子だ
立派なお乳を…♡
ムニッ
ムニュ
ぷるん！
プリンプリンの
お乳じゃないか…！
こんな真っピンクの
乳首なんて初めてだ！
熱いね…
冷まして…
あげるからね…
ふーっ
ドクン…
ドクン…
ドクン…
はぁっ…

ほぁッ
ドチッ
ほぁッ
ドチッ
ほぁッ
ドチッ
ほぁッ
ドチッ
ほぁッ
ほぁッ
ほぁ

起きないな…
もう少し遊んでみるか…
うひひひ…
おまんんこも綺麗だぁ
こりゃ上物だぁ
私の家の前は
ここらの学校の通学路だ
若い子をみて
オナニーするのが
私の日課だった
そんな私に神様が
セックスをしろと
おっしゃっている…
ドッドッドッ
おい…
濡れてるじゃないか
どれどれぇ
スチ
デュレロォー…
トロォー…
くちゅ
ぐちゅ
グチュッ

はぁー…
はぁ
はぁ
はぁ
ハァー…
はぁー…
ドッ…
かなちゃん！
息が…苦しい…
何度も挫けそうになりながら
やっとの想いでコンビニを見つけた
とにかくかなちゃんの元に
早く水を届けなきゃ…！

でも冷静に
なって考えればー
水だったら水道水
飲ませればよかったような…
この状況を
作りたかったのか

悪い予感がした…
ヒタッ…
どき
今あの部屋で何かが行われてる

え…
はぁ…
はぁー…
はぁー…
ここどこ…
はぁー…
はぁー…
凄い…
オスの匂い…
あっつい…
ちゅぱ
プルン！
ええ！
なんで私裸なの…!?
ドキ
ドキ!!
ゾワァー…
ビクンッ
ドキ
確か…デカチンを
見て気を失ったような…
ドロォー

はぁー…
むにぃー…
やめ誰ですか！
はぁ…
ムニィ
ようやく起きたんだね
はぁ…
やめ…！
はぁ…
ぐにぃ
スリ
スリ
はぁ…
なにか当たってる…
はぁ
ふっ——…
はぁー…
はぁ…
私は倒れてる君と彼氏を助けたんだよ
はぁ
彼氏は君を置いてどっかいったがね
はぁー…
ギン
ギン
ギン
嘘…
ドキ
ドキ
はぁ
はぁー…
体に力が入らない…
このままじゃ…
このままじゃ…
ドクー…
病み上がりだから大人しくしなきゃ
なに…このチンッ…

はぁ……んっ
はぁ～ミ
ほぁ～ミ
んぶぅ～ミ
おっきい…
ぐぐぐぐぐ～…
ぐぐぐぐぐ～…
ぐぐぐぐぐ～

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
パンッ
激しい…
パン
パン
パン
パン
ひと突き
されるたびに…
イっちゃいそう…
パン
はぁ♡
はぁ♡
バレてたんだ…
どうだい？
おじさんの
ちんぽは？
君さっき道路で
私のちんぽを
見惚れていただろ…
私にはわかる…
君が私のを
求めてるってことが！

こうた以外とエッチしちゃってる
こんなエッチ…初めて…♡
気持ちいい所にデカチンが当たる

ほぁ♡
ほぁ♡
ほぁ♡
ほぁ♡
ほぁッ♡
ほぁ♡
んぁ♡
んまっ♡
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

おじさんのおっきいおちんぽください
とうとう自分からお願いしちゃった…
ダメって頭ではわかってるはずなのに…
こうた：ごめんね 今日だけは許して…
はぁ♡
はぁッ♡
ドキ
ドキ♡
ぱぁ～♡
どぉろぉ～
ズボォボォ
ぐにぃー
パチュンッ
パチュン
パチュンッ

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
え…？
はぁ♡
おじさんの首に手を回してごらん
パチュン
パチュン
パチュン
ふっ…
ふっ…
ふっ…
ふっ…
ひぃ
オォラァ！
軽々しく持ち上げられちゃった
この力強さもこうたには…
ずちゃッ
ずぶッ
ずんッ
ずちゃ
おちんぽが…
おちんぽが…

後ろから
ぶち込んであげるから
おしり
だしてごらん
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
パン
パン
プチュン
プルン
ブシャー

はぁー…
びきっ
はぁ
はぁ
はぁ
ぬちゃ…
ぬちゃー…
ほら…
おねだりは…？
はぁ
はぁ
びくっ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクッ
はぁ
おちんぽ…
くだしゃい…
ちゃ…
くちゃ
ぬちゃ
ぬちゃっ
すぶちゅ…
はんっ…！
ハァ…
ハァ
んっ♡
にゃ
にゅぐぐぐー…
ん…♡
ん…♡
ん…♡
ん…♡
ハァー

はぁ…
はぁ…
はぁ…

はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
ほらっ…
立って窓に手をついて
ずんっ！
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぐぐぐっ
ぐぐぐっ
あっ♡
あっ～♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
彼氏帰ってくるの
見えるかもね…
まだ帰ってこないで…

あっ♡
はぁ
はぁ…
はぁー…
パチュッ
パチュン
パチュッ
パチュン
パチュッ
パチュン

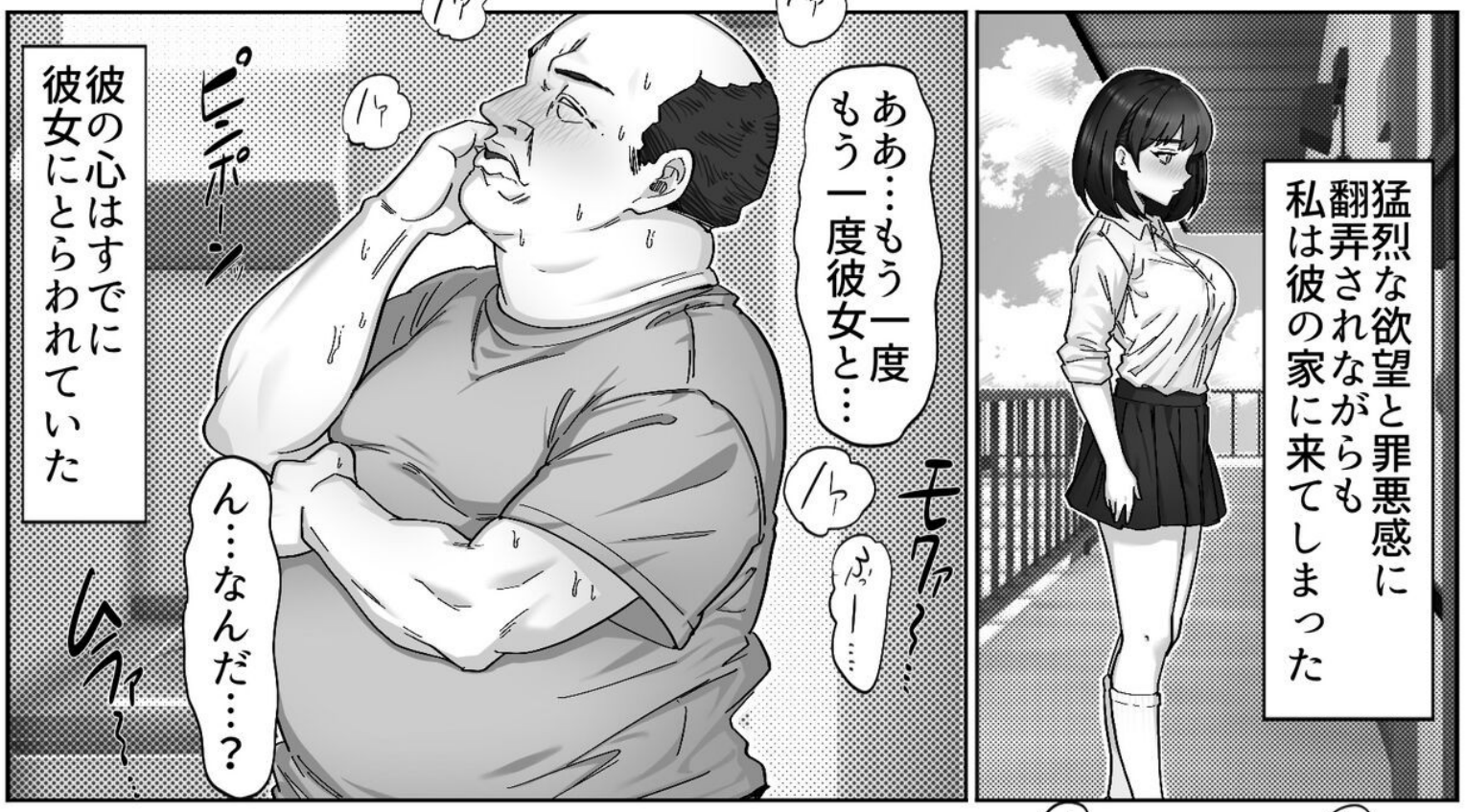
はぁ…
はぁ♡
イッちゃう
イクッ♡
おっ♡
びゅるるーッ
どくん♡
びゅるるッ
ぶしゃーッ
パンッ
パンッ
パンッ
どくどく
精子出しすぎちゃったかな…
はぁ…
カクッ
ぶるるー…
ガクッ
それにしても
おまんこの相性いいね
また遊びにおいでよ
いつでも中出ししてあげるから
ガクッ
ぴくん
ぴゅっ
ぞくっ♡
ぞくぞく♡
どろぉー
ガクッ
ガクッ

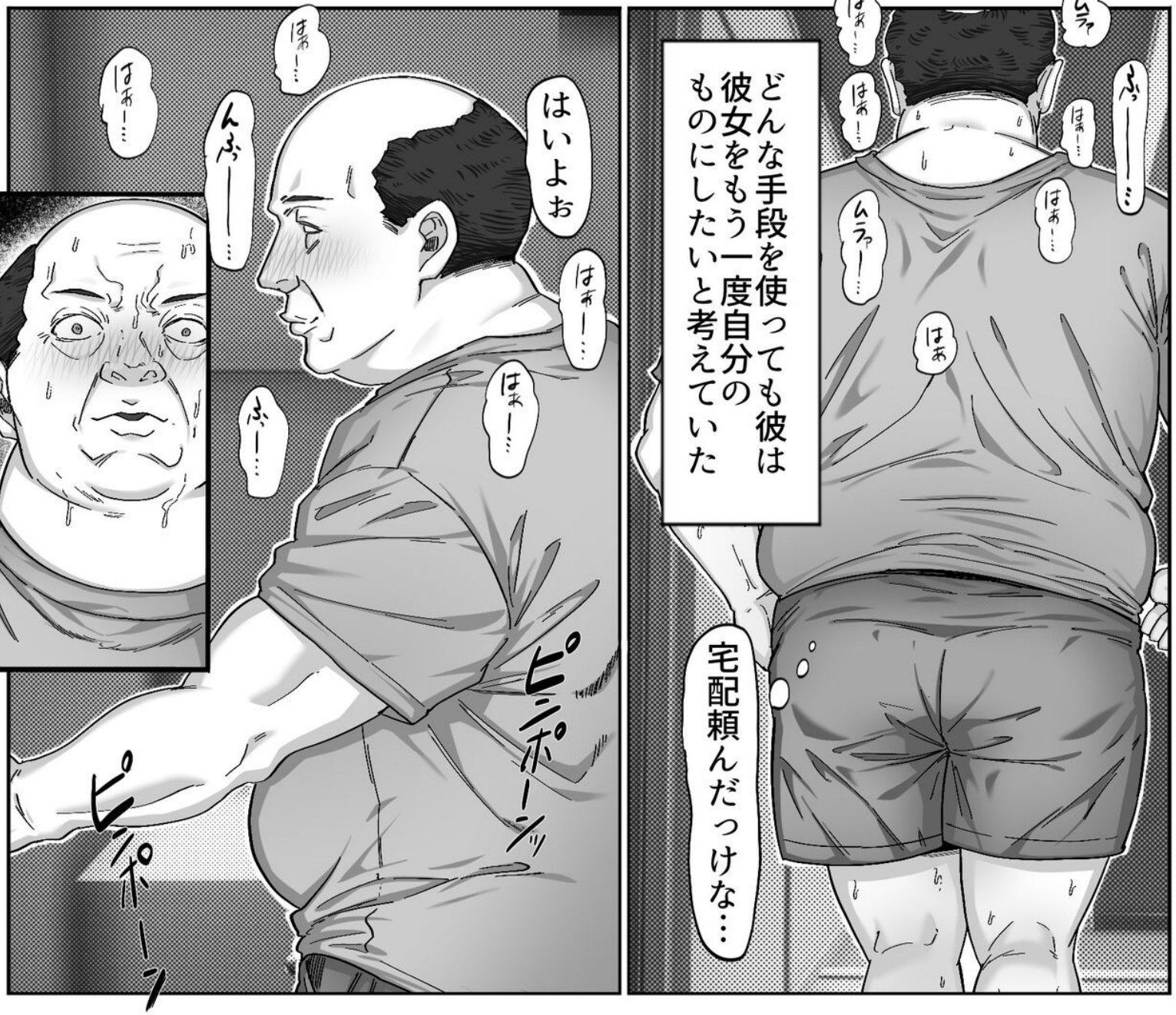
だいぶ時間がかかってしまった…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
かなちゃん…無事であってくれ…！
もし彼女が…他の男に…寝取られることなんて
考えただけで頭が爆発しそうだ
ドキッ
ドキッ

そんな展開…エロ漫画でしか見たことない
きっと大丈夫だ…
大丈夫…
ピンポーン
ドクン
ドクン
ギチ…
ギィ…ギィ
ギィ
ドッドッドッドッドッドッ
ガチャー…
はぁ
はぁ
はぁ
ハァー
ドキ
ドキ

はぁ…
はぁ…
ふぅー…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
おお、君かぁ
ずいぶん遅かったじゃないか
はぁ…
ドキ
あの…かなちゃんは…無事ですか…
無事も何も元気ビンビンでもう帰っちゃったよぉ
はぁ…
はぁ…
はぁ…
わざわざ水買ってきてもらったのに悪いね
ドキ
ドキッ
ドキッ
いえ…こちらこそご迷惑おかけしました…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
ふー…
はぁ…
かなちゃんは男の部屋にはいなかった
連絡は無いけどここにいないだけホッとした

夕暮れが迫る中
おじさんの家を後にした
こうたにはバレず
エッチしちゃった…
まだジンジンする…
こうたには
何も知られていない
それが何とも言えない
安堵と罪悪感を産む
私の体は彼の存在で
満たされている
彼なしではもう考えられない
私の体が彼を求めているのだ


猛烈な欲望と罪悪感に
翻弄されながらも
私は彼の家に来てしまった
ああ…もう一度
もう一度彼女と…
ピンポーン
ん…なんだ…？
彼の心はすでに
彼女にとらわれていた


どんな手段を使っても彼は
彼女をもう一度自分の
ものにしたいと考えていた
宅配頼んだっけな…
はいよぉ
ピンポーン
ピンポーン

心の中の混沌と欲望
その狭間で揺れる彼女の罪悪感
彼の欠片が脳裏を
かすめ身体は前に進む
また来ちゃった…
抗うことを知らない本能のままに
彼女は再びおじさんの元へ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
ドキドキ

はぁ
はぁ
はぁ
ふぅー…
んぐっ…
グッ
ぢゅぽ♡
ぢゅぽ♡
ぬぽっ♡
ぐぢゅっ♡
ぢゅぽ♡
ぢゅぽっ♡
こうたには内緒にしないと…
はぁ
はぁ
はぁ…
はぁ…
ジュッポ
ジュッポ
ジュッポ
おちんぽ舐めておまんこ濡れてるなんて最高にど変態なんだね
はぁ…
はぁ…
ビクッ
ビクッ
ネチョー…
ダラ…
頭の中は肉棒で満たされていた
オッ
ンッー!♡
ジュポッ
オフォー…
んぐぅー…
ンッ!♡
オォッ♡

ねちゃ…
んっ♡
あっ♡
あ♡
あッ♡
はぁッ♡
もっと…
もっと突いてください！
はぁ♡
んっっ
はぁ♡
あっ♡
あッ♡
ぴッ
パン
パン
パン
すぱん
パン
パチュッ
パン
パチュッ
パン
パチュッ
ズン

気がついたら私は自分から動いていた
おちんぽ…好き…♡
ハァーハァー…
はぁ
はぁー…
私…おじさんのこのデッカいおちんぽにハマっちゃった…
ブチュッ…
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
今まで求めてきた全てが叶った…
おぉー…
はぁー…
ビンッ
ビンッ
どちゃ
どちゃ
ばちゃ
ばちゃ
どちゃ

ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡

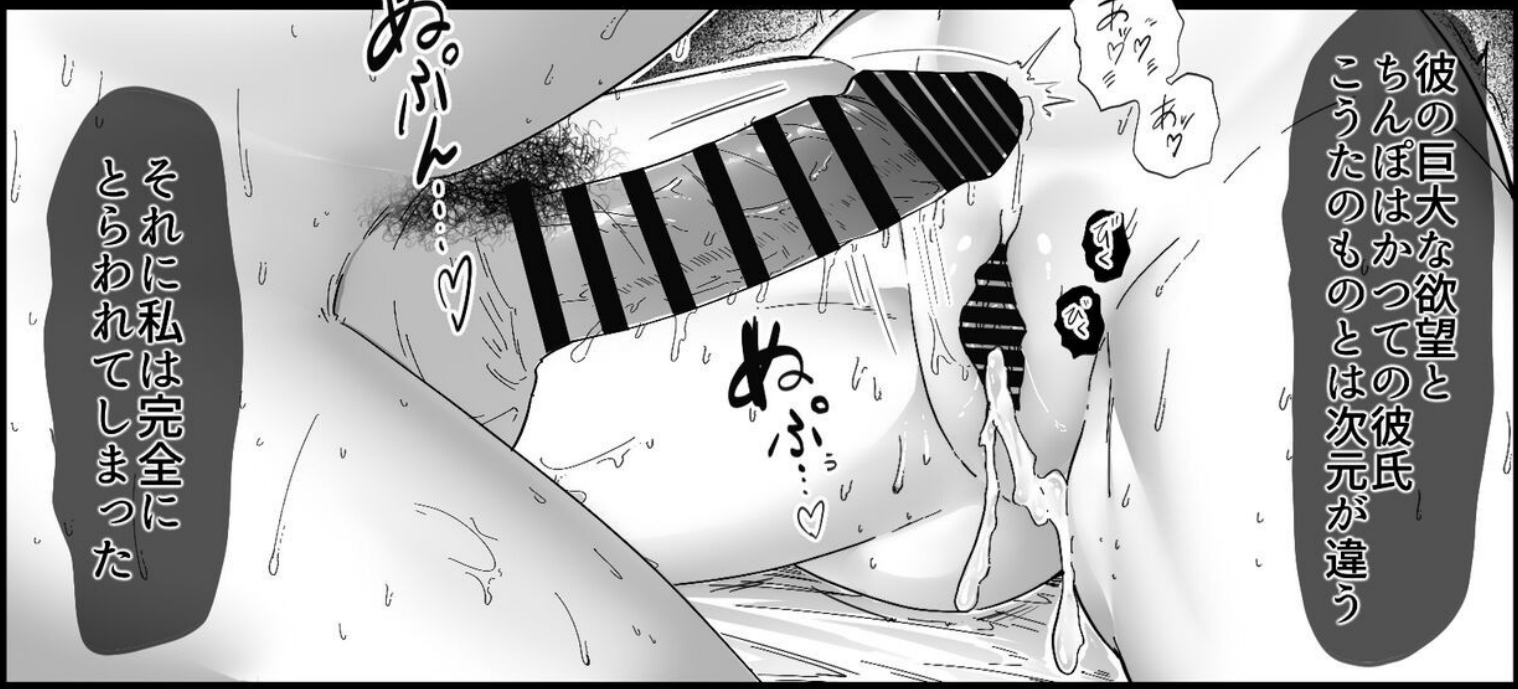
どぐ♡
どぐ♡
どぐ♡
あぐ♡ あぐ♡ あぐ♡
らめぇ！ はぅ♡ あぐ♡ あぐ♡
びゅるるっ♡
びゅるっ
びゅ
ビュルルー
ビュルルー
ビュルルー
あ〜♡ ハ♡ ハ♡ あ〜
あぐ♡ あぐ♡

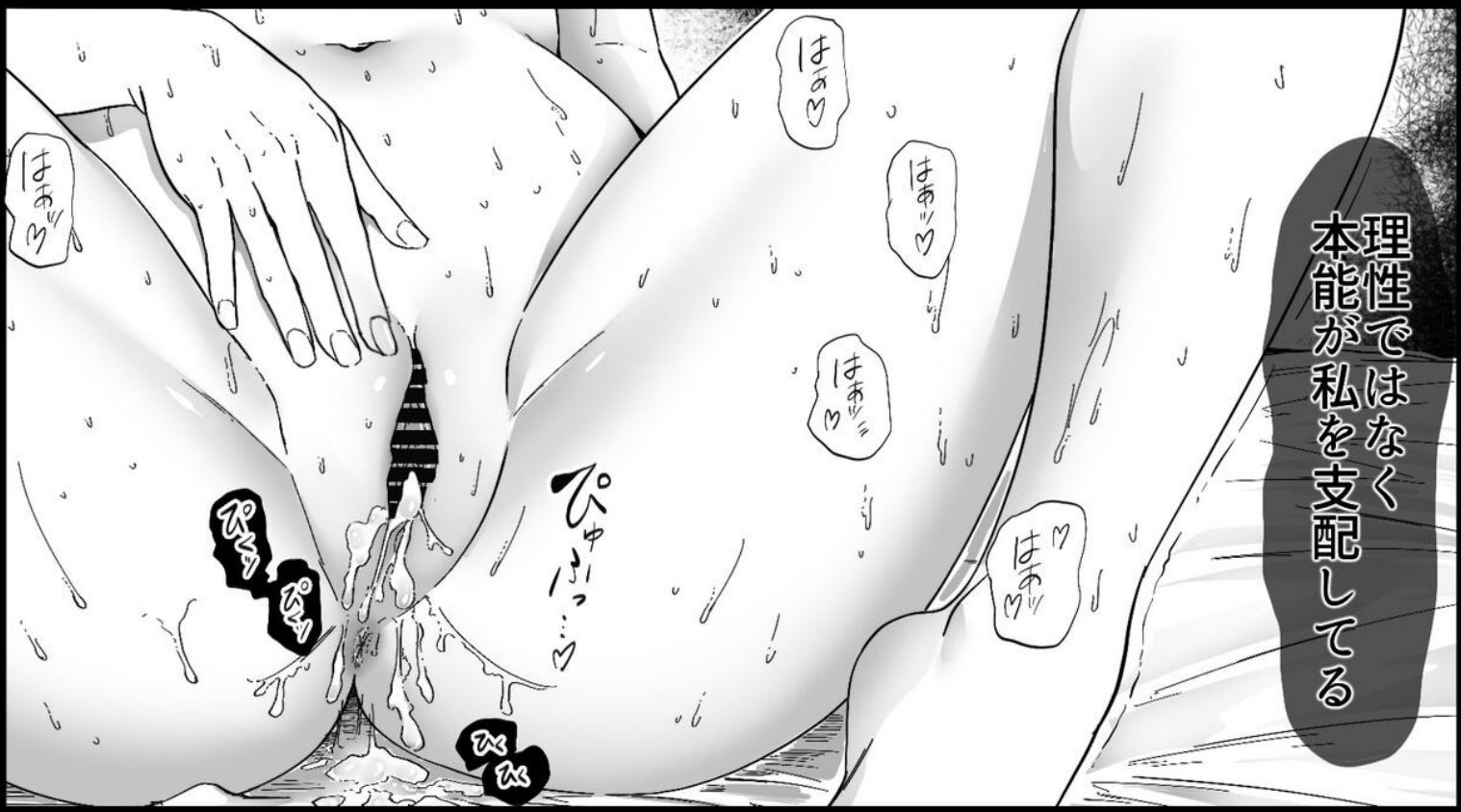
学校が終わり放課後の教室で
こうたと過ごしていた日々が
今は遠く遠くに感じる

こうたと過ごす甘い日々に
比べおじさんとの
秘め事は罪深い快楽だった

かつて愛したこうたの
存在が今は霞んで見える

彼とは違うおじさんの男性としての
圧倒的な存在感にこうたは勝てない
自覚している
もはや自分はおじさんの
ものになってしまったと…


彼の巨大な欲望と
ちんぽはかつての彼氏
こうたのものとは次元が違う
それに私は完全に
とらわれてしまった
あッ♡
あッ♡
ぬぷん……♡
ぬぷっ……♡


理性ではなく
本能が私を支配してる
はぁ♡
はぁッ♡
はぁッ♡
はぁッ♡
はぁ♡
はぁッ♡
ぴゅぷっ……♡

この夏の終わりに
私はおじさんを選んだ
彼の欲望とともに
私の全てを捧げる
はぁッ♡
はぁ♡
はぁ♡
あッ♡
はぁッ♡
はぁッ♡
はぁッ♡

太マラ爺が彼女をキモ寝取りする話

デカチンポしか勝たん！

こんにちは。私はカークンです。

この度は私の作品をお手に取っていただき
本当にありがとうございました。

貴重なお時間を私の作品に
費やしてくださったこと深く感謝申し上げます。

普段から寝取られジャンルの作品を描いている私ですが、
今回の作品ではより力強い表現を意識して描きました。
新たな挑戦の一部として、その思いをご理解いただければ幸いです。

私が敬愛するある芸人さんが、男性には特に興味がないものの、
AVで大きなちんぽを見ると何故か興奮するという話をしていました。
そのエピソードに対し、思わず共感を覚えた次第です。

おそらく、私たちが視覚的な作品に没入する際、自身も同様にちんぽが
膨張して興奮するのではないかと考えました。
そして、その興奮を元に今回の作品では
様々な大きさのちんぽを描くことにしました。

大きさにより好みは分かれるかと思いますが、物語の構成上
大きい方が優位となりました。しかし、私はこれからも様々な大きさ、
形の表現に挑戦し、色々な角度からエロチックな世界を描き出すことを
目指します。また読み返してみるとそれほどデカチンではなかった為
いつかバズーカみたいなバグチンポも描いてみたいです。

どうかこれからも、私の作品をお楽しみいただき、
その成長を見守っていただけますと幸いです。
これからもカークンの作品をよろしくお願い申し上げます。

※18歳未満の購入及び閲覧、転載、アップロードを禁じます。

●この物語はフィクションです。登場する人物・団体・
名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。

発行:カークン
発行日:2023年8月4日
Twitter:@kakunr18

Twitter(X)
読み取ってネ!

ドキッ
ドキッ
ドキッ
はぁ…
はぁ…
ふぅー…
はぁー…
やだっ…
やめて…ください…
やめていいの？
めちゃくちゃ
濡れてるじゃん
クチュッ
クチュ…
クチュ
クチュ
クチュ
クチュー…

はぁ…
ふー♡
はぁ
びく!
ふー♡
はぁ…
ちょっと恥ずかしんだけど…
かわいい
はぁ…
はぁ
ふぐっ
びくっ!
グッ
グヴヴ…
はぁー…
やめ…らあめ
ぴくん♡
ぴくん♡
ぴくん…
ぴくん…
おかしくなっちまった…!?

熱中症だから涼しくしないとね
JKの匂いを…
熱いね…冷まして…あげるからね…
凄い…オスの匂い…
ここどこ…
あっつい…
ええ！
なんで私裸なの…!?
パン
激しい
パン
パン
パン
どうだい？おじさんのちんぽは？
君さっき道路で私のちんぽを見惚れていただろ…
私にはわかる…君が私のを求めてるってことが！
おじさんのおっきいおちんぽください
今日だけは許して…